

『海賊と呼ばれた男』

百田尚樹 著

私がおすすめる百田さんの本を選んだ理由は、小さな会社が大きく成長していく道のりを描いていておもしろいと思ったこと、経営や経済で大切なことを学べると思ったからです。

『かがみの孤城』

辻村深雪 著

じっくりと長く本を楽しみたい方にオススメの本はこれです。謎の人物であるオオカミさまによって鏡の中に集められた少年少女達、彼らには似たような悩みがあり、



また、戦後の日本で、一つの企業が日本の石油会社や世界の大手企業を相手にして、常に日本国民のことを考えながら行動している社員達に心を打たれました。とても長い本ですが、読み出したらそ

オオカミさまが言う願いが叶えられる「カギ」を探すことに。次第に友情や恋愛感情が芽生え始める彼らに襲い来る謎とは。そしてオオカミさまは誰なのか。最後の「カギ」を見つけることが出来るのか。結末が少しでも気になるあなたはこの本を手にとってみてはどうでしょうか。

木村虎太郎

の魅力にはまってしまっ本です。ぜひ読んでください。

中尾翼



『幼なじみ』

白いゆき 著

蒼と絢音は幼なじみ。絢音は五年前にクラスメイトだった智也を失い、トラウマになっていた。そこに智也の兄、遊也が現れる。その遊也に背中を押され、両思いとなる二人。しかし二人は絶対に結ばれない関係だった。

この本は、私のいままでの価値観が一八〇度ひっくり返された作品です。

主人公である茂野吾郎の父は、

昔日外国人のよって持たされたテニスボールで亡くなってしまっ。そこから父に教わった野球を通して、チームワークの大切さや、「スポーツは一人ではできない」「ことを成長していく中で生まれる仲間たちによって思い知らされていく。幼少期から大人まで夢を追い続

沙羅という女の子が蒼を好きになり、蒼も沙羅を好きと知った絢音は距離を置くとする。そんなときに遊也が交通事故で亡くなってしまう。早すぎる死に絢音は胸を引き裂かれる思いとなる…。

読み進むにつれ、引き込まれていく作品です。ぜひ手にとって読んでみてください。

笠原文恵

ける、みんなへのサクセスストーリー。ぜひ、読んでみてください。

菅田啓太

